

米高騰の黒幕 (真犯人) は 誰だ？

流通の仕組みとは
お米の適正価格とは

高野山大学 奥田修一郎

先生のための「夏休み経済教室」

I 教材開発にいたるまでの舞台裏

タテ・ヨコ・数字・体験・人

出口治明（はるあき）氏の分析方法
「タテ・ヨコ・算数」があるが、

- ネタ研では、ホットな社会的事象を授業実践や授業プランが報告されてきた。
- 0 小学校での農業学習（3年，5年）の内容，大学での地域体験授業（主に農業）
 - あまりにも農業のこと，現状のことを理解していない自分がいた。
 - 1 読んで楽しい本を見つける。：芦垣裕，2024，『米ビジネス』クロスメディア・パブリッシング，※最近出版された本では，山口亮子，2025，『農業ビジネス』クロスメディア・パブリッシング，
 - 導入のクイズとして使えるかも？
 - 新書を何冊か読んでみる。：小川真如（まさゆき），2022，『日本のコメ問題』中公新書
 - 若い米作り農家がなぜ少ないのか？
 - ：佐藤洋一郎，2020，『米の日本史』中公新書 →導入のクイズで使えるかも？
 - 2 いろんなスーパーのお米売り場に立ち寄る。また，地域のお米屋さんを覗いてみる。
 - 産地包装，POPの表示に注目する。
 - 3 農家や農協の方に取材（実はこれが難しい。知りたいことを聞くには，まずは人間関係）
 - 中山間地域での米作りの実際を知りたい。水の管理，農業経営，農家の思い，農業の多面的機能，耕作放棄地，跡継ぎ問題，所得，地域づくり，大規模化が進む地域とそうでない地域
 - 4割の中山間地域の米作りはどうか？

産業としての農業という視点

生業としての農という視点

系口は、大学の授業でお世話になった方のネットワークから広がっていった。一緒に水路の掃除

4 消費者の視点から：（まちづくり会のみなさんからの聞き取り，オーガニック給食チームのみなさんとともに）

→ どういう視点で，お米を買っているのか？

5 卸売業についての自分なりの学習（泉佐野の魚市場の風景はよく見た経験があったことから青果物などもセリ・入札（R4年で金額ベースで7.3%にしかすぎない）で決まるものだと思い込んでいた。いろんな価格形成があること。特に「相対取引」

「見えざる手」ではなく「見える手」

→ お米の流通はどうなっているのか。

→ 青果物全般は？ → 教科書にはどう説明されているのか。

： 桂瑛一，2020，『青果物流通論』農林統計出版，新山陽子，2020，『フードシステムの構造と調整』昭和堂，

： 藤島廣二，2009，『食料・農産物流通論』筑波書房

： M. ホール，1957，（片岡一郎訳）『商業の経済理論』東洋経済新報社

： 令和6年 農林水産省，『令和5年度 卸売市場データ集』，「教えて！卸売市場のこと」
難易度が高い！挫折しそうになる！

- 6 米高騰はどのように議論されているのか。：雑誌「エコノミスト」，生成AIにも尋ねてみる。
参議院 農林水産委員会インターネット中継，特に参考人質疑→解決策についての議論が参考になった。（長い中継では4時間程あるが）
- 7 講演を聞く 菅野芳秀さん 「令和の百姓一揆」
- 8 農業関連の雑誌，「季刊地域」No.61「農家が足りない」，「現代農業」2025年8月号
- 9 農林水産省や総務省の統計資料から，自分で資料をつくってみる。

Ⅱ 授業化するために

- 1 資料をつくる：農林水産省統計，「営農類型別経営統計」，「農林業センサス 累年統計」，令和6年，「米の消費及び生産の近年の動向について」，一橋大学経済研究所「長期経済統計（LTES）」，総務省「家計調査年報」，全米販（全国米穀販売事業共済協同組合）「米穀流通2040ビジョン」など →自分でつくりながら「ねらい」を絞っていったり，根拠づけの資料から再度考察したりしていく。
- 2 何を探究するものにするのか。何を理解させるのか。→なかなか絞り切れない。教科書の枠内での学びになると限界がある！流通の学習とつなげての設定

Ⅲ 授業の大まかな流れ（3～4時間）

授業構想：1時間目（問題に関心を持つ）

○ウォーミングアップのクイズ（品種、大切な要素、価格の決まり方）

○令和の〇〇〇 令和の〇〇〇〇 とは → ○実際はどうか？ 誰が困っているのだろうか？
→資料から考えていく。

○米高騰の黒幕（真犯人）って誰なのか？ 8つの黒幕（真犯人）をあげる。あえてどれか一つを選び、同じ黒幕（真犯人）もの同士でグループをつくり意見を交流しあう。もとのグループに戻り意見を交換する。実際・実情カードを読み合わせる。消費者カードは教師から問題提起として説明してもよい。

2時間目（流通のしくみを理解する）

○ワークショップ① 生産者（約50万）と消費者（約5000万世帯）しかいなかったら
② 農協ができたことで ③卸売業ができるとどうなる。

○農家の考えるお米の適正価格とは。 ○お米のコスト調査結果から費用と利益を確認する。（流通では施設費、運賃、保管料、輸送費などがかかる。どこかが利益を特に得ているわけでもない）

3時間目 ○どんな政策が必要なのだろうか？（答えの出ない問題に向き合う）

- ①コスト指標を消費者だけでなく、各流通関係者にも理解してもらい、適正価格を考えていく。
- ②農家が継続的に農業をできるように、直接支払い制度をつくる。（誰に、どの程度の）
- ③補助金を使いお米をつくらないようにする政策をやめ、増産・輸出をめざす、
- ④新しく農業を始める人を支援し、規模の小さい農家を活性化させる。
- ⑤農業予算を倍増するだけでなく、生活に困っている人には米クーポンを配る。
- ⑥大規模化やスマート農業化をすすめるとともに、強い農家をつくる政策を進める。